

5月の

石崎真由美

5月の

風のまだ冷たい朝

緑のドームのような丘の上の

白い家が並んだ辺りを

薄桃色の陽光が

やわらかに包む

誰かが今

歯磨きをしているだろう

誰かが今

コーヒーを飲んでいるだろう

僕はまだ起きない
ジェンガみたいに積んだ本の
一番上の一冊を取る
開いたところに付箋を貼って
また元に戻す

雲が流されるのは
形をもたないから
風が吹くのは
帰る棲家がないから

僕はまだ起きない
もうずっとクレヨンで
自画像を描いている
どんなに美しい絵の具で
重ねられようとも
はじくのは面白い
シーツの下に敷いて
僕はまだ

とても幸福な
たぶん病人